

# 【NTT フレッツ光 (PR / RTシリーズ) でのポートフォワーディング設定】

PR、RT シリーズの設定画面は共通のものも多いので、ご使用されているものと比べた上でご参照ください

## PR-400NE 等の設定

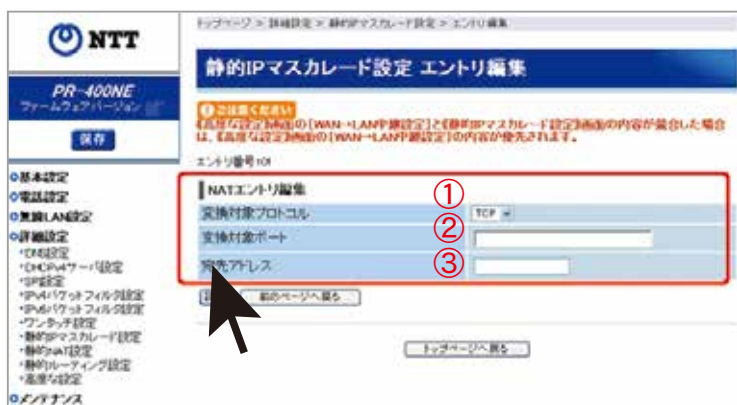


詳細設定 > 静的 IP マスカレード設定 を選択



対象インターフェースは通常であれば接続設定 1 のままです。NAT エントリの編集から設定します。カメラが複数台ある場合はエントリ番号 1,2... とカメラ 1 台ごとに登録します。

静的 IP マスカレード設定 エントリ編集 でポートフォワーディングの設定をします



### 1. ルーターのポート番号の設定

- ① 変換対象プロトコル：TCP を選択
  - ② 変換対象ポート：80 又は 1024～49151 の範囲で設定します。カメラが複数台ある場合はカメラごとに違う数値を入力してください。
  - ③ 宛先アドレス：IPカメラのプライベート IP アドレス
- 入力が完了したら設定を押します。

HTTP ポート	80	(80 又は 1024-49151)
RTSP ポート	554	(554 或 1024-49151)
Rtmp	1935	
RTSP権限検証	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ (注意：設定を変更した後、デバイスを再起動)	

### 2. IP カメラへのポート番号の設定

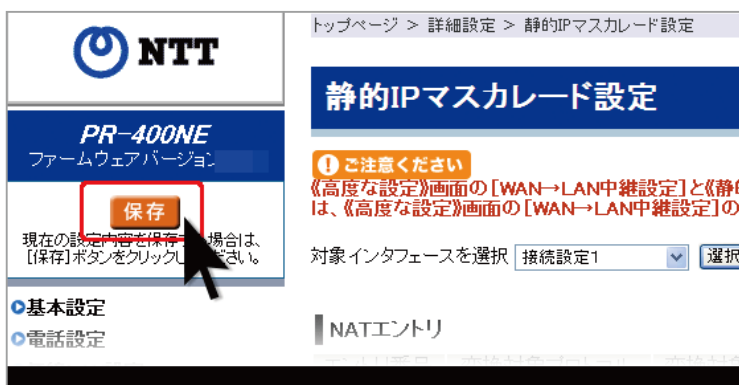
IPカメラの管理画面右メニュー>LAN 設定 を選択  
HTTP ポートの数値にルーターに設定したポート番号 (②) を設定します。

IP カメラ側のポート番号設定



画面が変わり、静的 IP マスカレード設定画面に戻ります。

先ほど設定をした NAT エントリのエントリ番号にあるチェックボックスにあるチェックをつけて、表の下部にある設定をクリックします。



設定をしたら左側にある保存ボタンをクリックして設定した内容を保存します。

PR-400NE 等の設定は以上となります

# PR-500KI 等の設定

NTT  
PR-500KI  
ファームウェアバージョン  
01.00.0050

静的IPマスカレード設定

トップページ > 詳細設定 > 静的IPマスカレード設定

高度な設定画面の[WAN→LAN中継設定]と静的IPマスカレード設定画面の内容が統合された場合は、高度な設定画面の[WAN→LAN中継設定]の内容が優先されます。設定変更を行うと、通信・通話切断されることがあります。

対象インタフェースを選択

静的IPマスカレード設定

有効/無効	エントリ番号
<input checked="" type="checkbox"/>	1
<input type="checkbox"/>	2
<input type="checkbox"/>	3

詳細設定 > 静的 IP マスカレード設定 を選択

静的IPマスカレード設定

トップページ > 詳細設定 > 静的IPマスカレード設定 ヘルプ?

高度な設定画面の[WAN→LAN中継設定]と静的IPマスカレード設定画面の内容が統合された場合は、高度な設定画面の[WAN→LAN中継設定]の内容が優先されます。設定変更を行うと、通信・通話切断されることがあります。

対象インタフェースを選択  ←メインセッションを選択

静的IPマスカレード設定

有効/無効	エントリ番号	変換対象プロトコル	変換対象ポート	宛先IPアドレス	宛先ポート	操作
<input checked="" type="checkbox"/>	1					編集 削除
<input type="checkbox"/>	2					編集 削除
<input type="checkbox"/>	3					編集 削除
<input type="checkbox"/>	4					編集 削除
<input type="checkbox"/>	5					編集 削除
<input type="checkbox"/>	6					編集 削除

[編集]ボタンをクリック

対象インタフェースは基本的に「メインセッション」を選択します。

静的IPマスカレード設定一覧にある編集から設定します。

カメラが複数台ある場合はエントリ番号 1,2... とカメラ1台ごとに登録します。

静的 IP マスカレード設定 エントリ編集 でポートフォワーディング設定をします

静的IPマスカレード設定 エントリ編集

トップページ > 詳細設定 > 静的IPマスカレード設定 > エントリ編集

高度な設定画面の[WAN→LAN中継設定]と静的IPマスカレード設定画面の内容が統合された場合は、高度な設定画面の[WAN→LAN中継設定]の内容が優先されます。設定変更を行うと、通信・通話切断されることがあります。

静的IPマスカレード設定 エントリ編集

対象インタフェース: メインセッション

エントリ番号: 1

変換対象プロトコル: ① TCP

変換対象ポート: ②

宛先IPアドレス: ③

宛先ポート: ④

1. ルーターのポート番号の設定

①変換対象プロトコル：TCP を選択

②変換対象ポート：WAN側（インターネット側）のポート番号。80又は1024～49151の範囲で設定します。

③宛先 IPアドレス：IPカメラの IPアドレス

④宛先ポート：IP カメラのポート番号。カメラで設定するポート番号が入ります。

接続したいIPカメラが複数台ある場合は追加して設定します。②はカメラごとに異なる数値を設定します。

HTTP ポート	80	(80 又は1024-49151)
RTSP ポート	554	(554 或1024-49151)
Rtmp	1935	
RTSP権限検証	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ (注意: 設定を変更した後、デバイスを再起動)	
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="キャンセル"/>		

IP カメラ側のポート番号設定

## 2.IP カメラへのポート番号の設定

IPカメラの管理画面右メニュー>LAN 設定 を選択  
HTTP ポートの数値 (デフォルト 80 のままで良い)  
をルーターの宛先ポート (④) に設定します。

静的IPマスカレード設定

トップページ > 詳細設定 > 静的IPマスカレード設定 ヘルプ??

高度な設定画面の[WAN→LAN中継設定]と静的IPマスカレード設定画面の内容が融合した場合は、高度な設定画面の[WAN→LAN中継設定]の内容が優先されます。  
設定変更を行うと、通信・通話が切断されることがあります。

対象インタフェースを選択 メインマシン

【静的IPマスカレード設定】

②[設定]ボタンをクリック

有効/無効	エントリ番号	変換対象プロトコル	変換対象ポート	宛先IPアドレス	宛先ポート	操作
<input type="checkbox"/>	1	TCP	www	192.168.1.4	www	編集 削除
<input type="checkbox"/>	2					編集 削除
<input type="checkbox"/>	3					編集 削除
<input type="checkbox"/>	4					編集 削除
<input type="checkbox"/>	5					編集 削除
<input type="checkbox"/>	6					編集 削除
<input type="checkbox"/>	7					編集 削除
<input type="checkbox"/>	8					編集 削除
<input type="checkbox"/>	9					編集 削除

①チェックボックスにチェックをつける

静的IPマスカレード設定画面に戻ります。

静的マスカレード設定のエントリ番号にあるチェックボックスにあるチェックをつけて、表の上部にある設定をクリックします。

静的IPマスカレード設定

トップページ > 詳細設定 > 静的IPマスカレード設定 ヘルプ??

高度な設定画面の[WAN→LAN中継設定]と静的IPマスカレード設定画面の内容が融合した場合は、高度な設定画面の[WAN→LAN中継設定]の内容が優先されます。  
設定変更を行うと、通信・通話が切断されることがあります。

対象インタフェースを選択 メインマシン

【静的IPマスカレード設定】

有効/無効	エントリ番号	変換対象プロトコル	変換対象ポート	宛先IPアドレス	宛先ポート	操作
<input checked="" type="checkbox"/>	1	TCP	www	192.168.1.4	www	編集 削除
<input type="checkbox"/>	2					編集 削除
<input type="checkbox"/>	3					編集 削除
<input type="checkbox"/>	4					編集 削除
<input type="checkbox"/>	5					編集 削除
<input type="checkbox"/>	6					編集 削除

ポート開放の設定ができた状態

PR-400NE 等の設定は以上となります